



まちづくりニュース

みんなで特殊詐欺の被害を防ぎましょう

オレオレ詐欺や架空請求詐欺などの特殊詐欺の被害は、全国的に依然として高水準で推移しています。

高知県でも、8月末の時点で、13件、約2,400万円の被害が発生しており、その大半は、嘘のメールやハガキを送りつけて有料サイトの利用料金などを請求し、現金や電子マネーの利用権をだまし取る「架空請求」の手口となっています。

犯人からの電話やEメール、ハガキの郵送は、いつやってくるか分かりませんので、十分注意してください。

心当たりのない請求には応じないことが大切です。

絶対に記載された連絡先に連絡しないでください。

不安をおおるのが手口です



慌てた時こそ相談しましょう

～被害を防止するために～

- 電話機の留守番電話機能を活用しましょう。
日ごろから留守番電話にしておけば、犯人からの電話を受けることもありません。
- ナンバーディスプレイ機能付きの電話機に交換しましょう。
かかってきた電話番号が分かり、知らない電話に出なくても済みます。
- 家族や知人に相談しましょう。
お金を求める内容の電話はまず疑い、家族などにすぐ相談しましょう。
- 警察や行政の相談窓口などにも相談しましょう。
「詐欺かな?」と感じたら、警察や消費生活センターなどの相談窓口にご相談しましょう。



県警では詐欺電話撃退装置を貸し出しています



高知県警察では、特殊詐欺被害を防止するため、詐欺電話撃退装置「見張り君」を無料で貸し出しています。

「見張り君」は、電話の着信時に会話内容を録音することを自動で警告しますので、特殊詐欺や悪質商法などの犯人に対して、犯行を断念させる効果が期待できます。



使ってみたい方、興味のある方は、最寄りの警察署生活安全課へご連絡ください